

報道関係者各位

平成21年度[第13回]

文化庁メディア芸術祭作品募集

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で作品募集 7/16～9/25

文化庁メディア芸術祭は、デジタル表現やテクノロジーを用いたアートだけでなく、エンターテインメント性のあるアニメ、マンガ、ゲームなどを含んだジャンルを“メディア芸術”と定義し、そのメディア芸術の創造と発展を図ることを目的として平成9年度から始めました。

創造性あふれるメディア芸術作品を顕彰するとともに、メディア芸術の最先端を体験することができる展示や上映、シンポジウム、ワークショップなどを開催。前回は世界44の国と地域から2,146作品の応募があり、来場者数は5万5千人を超え、アジアを代表するメディア芸術の祭典へと成長しています。

平成21年度[第13回]文化庁メディア芸術祭は、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で、7月16日(木)から9月25日(金)まで作品を募集します。

対象としている作品は、インタラクティブアート、映像、グラフィック、デジタルフォト、ウェブ、ゲーム、アニメーション、マンガなどで、プロ・アマチュア、自主制作・商業目的を問いません。

今回の受賞作品展は来年2月3日から14日まで、国立新美術館で開催します。さらに、アルス・エレクトロニカ(オーストリア)、Xメディアフォーラム(ロシア)、シーグラフ(米)、ジャパン・エキスポ(仏)、神戸ビエンナーレ、仙台短編映画祭など、国内外の20以上のフェスティバルでも受賞作品を紹介していく予定です。



昨年度の展示風景



作品募集ポスター

募集概要

- 名称 平成 21 年度 [第 13 回] 文化庁メディア芸術祭
2009[13th] Japan Media Arts Festival
- 募集期間 平成 21 年 7 月 16 日 (木) ~ 9 月 25 日 (金)
- 募集部門
- アート部門
インタラクティブアート、インスタレーション、映像、静止画 (デジタルフォトを含む)、Web など
 - エンターテインメント部門
ゲーム、遊具、映像 (VFX、CM、MV など)、キャラクター、Web など
 - アニメーション部門
長編アニメーション (劇場公開、TV、OVA)、短編アニメーションなど
 - マンガ部門
ストーリーマンガ、コママンガ、Web マンガ、自主制作マンガなど
- ※コンピュータ、ビデオ、インターネットなど、新しいメディアテクノロジーを用いて作られた作品を募集します。アニメーションとマンガはデジタルだけでなく従来の手法による作品も対象。
- 各賞 部門ごとに、高い芸術性と創造性を基準に、大賞 1 作品、優秀賞 4 作品、奨励賞 1 作品が選ばれます。なお、審査委員会の推薦により、メディア芸術界に貢献のあった人に対して、功労賞を贈呈しています。
- [大賞] 賞状 (文部科学大臣賞)、トロフィー、副賞 60 万円
[優秀賞] 賞状 (文部科学大臣賞)、トロフィー、副賞 30 万円
[奨励賞] 賞状 (文部科学大臣賞)、トロフィー、副賞 15 万円
- 文化庁メディア芸術祭
実行委員会
- 会長
青木 保 (文化庁長官)
 - 運営委員
林田英樹 (国立新美術館長)
岩木 肇 (CG-ARTS 協会理事長)
浜野保樹 (東京大学大学院教授)
- 審査委員
- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> アート部門
岡崎乾二郎 (近畿大学国際人文科学研究所教授)
佐藤 卓 (グラフィックデザイナー)
四方幸子 (メディアアート・キュレーター)
関口敦仁 (情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) 学長)
辻川幸一郎 (映像作家) | <input type="checkbox"/> アニメーション部門
幾原邦彦 (アニメーション監督)
木船園子 (アニメーション作家)
鈴木伸一 (アニメーション監督)
野村辰寿 (アニメーション作家)
樋口真嗣 (映画監督) |
| <input type="checkbox"/> エンターテインメント部門
内山光司 (クリエイティブディレクター)
河津秋敏 (ゲームデザイナー)
後藤繁雄 (京都造形芸術大学教授)
斎藤由多加 (ゲームデザイナー)
榎山 寛 (コンテンツ・プロデューサー) | <input type="checkbox"/> マンガ部門
さいとうちほ (マンガ家)
しりあがり寿 (マンガ家)
永井 豪 (マンガ家)
細萱 敦 (東京工芸大学准教授)
村上知彦 (神戸松蔭女子学院大学教授) |

- 作品推薦 Webサイトにて優秀作品の一般推薦を受け付けています。
推薦期間 平成21年6月25日(木)～8月26日(水)
- 贈呈式・展示 贈呈式 平成22年2月2日(火)
受賞作品展 平成22年2月3日(水)～2月14日(日) 国立新美術館
- Web サイト <http://plaza.bunka.go.jp/> *募集要項の詳細を掲載しています
- 主催 文化庁メディア芸術祭実行委員会(文化庁・国立新美術館・CG-ARTS 協会)
- お問合せ CG-ARTS 協会内「文化庁メディア芸術祭事務局」
〒104-0031 東京都中央区京橋1-11-2
TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840
URL <http://plaza.bunka.go.jp/q/>
- 国内外での紹介 今年度は海外16箇所、国内9箇所での作品の展示・上映を予定しています。

<海外フェスティバル>

1. JAFF (エストニア・タリン 4/3-12)
2. MILANO DIGITAL ENTERTAINMENT JAM (イタリア・ミラノ 4/22-27)
3. Futuresonic (イギリス・マンチェスター 5/13-16)
4. CODED CULTURES (オーストリア・ウィーン 5/27-6/7)
5. X Media Forum (ロシア・モスクワ 6/20-24)
6. JAPAN EXPO (フランス・パリ 7/2-5)
7. SICAF (韓国・ソウル 7/22-26)
8. FILE (ブラジル・サンパウロ 7/27-8/30)
9. SIGGRAPH (アメリカ・ニューオーリンズ 8/3-7)
10. 釜山国際子供映画祭 (韓国・釜山 8/14-18)
11. Ars Electronica (オーストリア・リンツ 9/3-8)
12. ACE Fair (韓国・ソウル 9/3-6)
13. ESPACIO ENTER (スペイン・テネリフェ 9/22-27)
14. Electrofringe (オーストラリア・ニューキャッスル 10月)
15. 香港アートセンター (香港 10/7-31)
16. シンガポール美術館 (シンガポール 11月)

<国内フェスティバル>

1. 長崎県美術館 (長崎 5/1-6/26)
2. SKIP CITY (埼玉 9/5-12/15)
3. 仙台短編映画祭 (宮城 9/19-9/22)
4. 神戸ビエンナーレ (兵庫 10/3-11/23)
5. 横浜 CODED CULTURES (神奈川 10/14-10/18)
6. 札幌国際短編映画祭 (北海道 10/14-10/18)
7. サントリーミュージアム [天保山] (大阪 10/31-11/1)
8. 富山水辺の映像祭 (富山 11/10-11/15)
9. SIGGRAPH ASIA (神奈川 12/16-12/19)

この件に関する問合せ先

CG-ARTS 協会 広報 篠原・千葉 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 URL <http://plaza.bunka.go.jp/q/>
広報分室 友野・安藤 (プランデックス・ジャパン) TEL 03-3564-2361 FAX 03-3564-5238

CG-ARTS 協会(財団法人画像情報教育振興協会)について

CG-ARTS 協会は1992年に設立した文部科学省認可の財団で、主にデジタル画像・映像分野における『人材育成』と『文化振興』を行っています。